

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(市町総括表)
【**単独**・連携事業】

市町名	矢板市
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	合計
1	矢板たかはらマラソン大会	総事業費	6,931,092	6,664,993	7,780,000	7,780,000	7,780,000	36,936,085
		うち市町支出額	2,500,000	2,500,000	3,000,000	2,500,000	2,500,000	13,000,000
		うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	0	3,000,000
2	たかはらやまトライアスロンin矢板	総事業費	5,544,824	5,507,283	5,569,805	5,569,805	5,569,805	27,761,522
		うち市町支出額	450,000	450,000	450,000	450,000	450,000	2,250,000
		うち県交付金	225,000	225,000	225,000	0	0	675,000
3	ともなり文芸祭り	総事業費		1,428,225	1,385,000	1,385,000	1,385,000	5,583,225
		うち市町支出額		1,200,000	1,200,000	1,200,000	1,200,000	4,800,000
		うち県交付金		600,000	600,000	600,000	0	1,800,000
4	「つつじの郷やいた花火大会」事業	総事業費		14,960,201	15,540,000	15,540,000	15,540,000	61,580,201
		うち市町支出額		1,300,000	2,000,000	2,000,000	2,000,000	7,300,000
		うち県交付金		650,000	1,000,000	1,000,000	0	2,650,000
5	「ふるさとまつり」事業	総事業費		5,192,557	3,510,000	3,510,000	3,510,000	15,722,557
		うち市町支出額		2,100,000	2,100,000	2,100,000	2,100,000	8,400,000
		うち県交付金		1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	3,000,000
6	「木の駅プロジェクト」事業	総事業費		3,854,887	4,000,000	4,000,000	4,000,000	15,854,887
		うち市町支出額		500,000	500,000	500,000	500,000	2,000,000
		うち県交付金		208,432	250,000	250,000	0	708,432
7	川崎城跡公園周辺地域再生事業	総事業費		573,281	626,000	426,000	426,000	2,051,281
		うち市町支出額		500,000	470,000	270,000	270,000	1,510,000
		うち県交付金		218,976	235,000	135,000	0	588,976
8	学生団体による「高校生の居場所づくり」事業	総事業費			605,000	605,000	605,000	1,815,000
		うち市町支出額			600,000	600,000	600,000	1,800,000
		うち県交付金			300,000	300,000	300,000	900,000
9		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	12,475,916	38,181,427	39,015,805	38,815,805	38,815,805	167,304,758
		うち市町支出額	2,950,000	8,550,000	10,320,000	9,620,000	9,620,000	41,060,000
		うち県交付金	1,225,000	3,902,408	4,610,000	3,285,000	300,000	13,322,408

栃木県がまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	矢板たかはらマラソン大会
事業主体の名称	矢板たかはらマラソン大会実行委員会
代表者の名称	会長 山口 忠男
事業主体の所在	矢板市矢板106番地2
事業主体の概要	<p>・団体の目的:参加者の健康保持増進を図るとともに、生涯にわたるスポーツに親しみきっかけ作りの機会創設による本市の生涯スポーツの推進を目的とし、さらには市内外からマラソン愛好者を募って大会を開催することにより、参加者同士の多地域間交流の場を提供するとともに、矢板市のイメージアップ・PRに寄与する。</p> <p>・設立年月日:平成2年4月1日</p> <p>・構成員等:市陸上競技協会を中心に市体育協会加盟団体全体で大会運営にあたっている。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>全国的な人口減少社会の中、矢板市においても人口減少やそれに伴う地域の活力低下などが懸念されており、人口流出の抑制や交流人口の増加など、人口減少に歯止めをかけるため、スポーツツーリズムを推進している。</p> <p>そこで、矢板市の掲げる市民ひとり1スポーツの趣旨に則り、だれもが気軽に楽しめるスポーツであるマラソンを通し、生涯スポーツの推進及び健康の保持増進に取り組むとともに、交流人口の増加に向けた観光施設及び交流イベントへの誘客を図るため、平成2年度より本大会が始まり、今年で第28回を迎える。</p> <p>本大会は、マラソン大会のシーズン初頭に開催されることもあり、足慣らしとして参加する方が多く、約7割が市外から参加(内県外が約3割)となっており、参加者同士の多地域間交流の場としての機能を果たしている。また、ゴール会場では食べごろを迎える当市の特産品であるリンゴをはじめ、特産品を振る舞っておもてなしをすることで、本市のイメージアップ・PRに寄与している。</p> <p>これまでの取組みにおいて、大会参加者の市内周遊や施設利用等において一定の効果は認められるものの、継続的な再訪や市内周遊には至っておらず、効果を高めるためにも、情報発信の更なる取り組みを進める必要があると考えている。</p>
事業目的	<p>・マラソンへの参加を通して、参加者の健康志向の高まりや健康の保持増進をはかる</p> <p>・市内外の参加者同士の交流を促進する</p> <p>・市内施設の利用を促すとともに、本市の魅力PRするための情報発信に取り組む</p>
事業概要	<p>①実行委員会の開催</p> <p>②参加申込書、プログラムなどの作成</p> <p>③大会を以下の内容で実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ○競技種目は、ハーフマラソン、10キロ、5キロ、3キロ、2キロで行う。 ○競技種目の各クラスごとに表彰を行う。 ○完走者には記録証を授与する。 ○参加者に記念品を贈呈する。 <p>④市制施行60周年記念大会として、有名ランナーの招致をおこなう。</p> <p>⑤観光PRの実施</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会プログラムへの観光情報掲載や、大会当日に参加者に観光パンフレットを配布するなど、大会時の市への来訪にあわせて、市内観光を促すための取組みを行う。 ・市外から本市を訪れる参加者が、市内周遊や施設の利用を促進するため、昨年度好評であった市の特産品であるリンゴの試食等による本市の魅力PRや、温泉施設等の各種割引券の配布等を行う。 ・市のふるさと納税返礼品として参加チケットを取り扱うことや、会場でのふるさと納税PRにより、継続的な参加や市の応援者増を図る。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標 ⇒ 『来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる』</p> <p>数値目標 ⇒ 交流人口数(人) 現状値(H26)1458,772 → 2,000,000(H31) [H28実績:1,627,926]</p> <p>KPI ⇒ スポーツ交流人口(人) 現状値(H26) - → 200,000(H31) [H28実績:139,423]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①実行委員会の開催 ②プログラム等の作成 ③大会の実施 ④観光PRの実施	①実行委員会の開催 ②プログラム等の作成 ③大会の実施 ④観光PRの実施	①実行委員会の開催 ②プログラム等の作成 ③大会の実施 ④観光PRの実施		①実行委員会の開催 ②プログラム等の作成 ③大会の実施 ④観光PRの実施
事業費	6,931,092	6,664,993	7,780,000	21,376,085	7,780,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,500,000	2,500,000	3,000,000	8,000,000	2,500,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	4,431,092	4,164,993	4,780,000	13,376,085	5,280,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課スポーツ推進班
担当者名	主任 黒崎 剛生
電話	0287-43-6218
FAX	0287-43-4436
E-mail	syougaijagakusyuka@city.yaita.tochigi.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	たかはらやまトライアスロンin矢板
事業主体の名称	たかはらやまトライアスロン実行委員会
代表者の名称	実行委員長 石塚 友章
事業主体の所在	矢板市本町8-15
事業主体の概要	<p>・団体の目的:トライアスロンを通じて市内の各団体、そして市民と共に豊かな自然・隣接する観光地への地理的条件も含めた矢板の良さを県内外にPRしていく</p> <p>・設立年月日:平成5年1月1日</p> <p>・構成員等:青年会議所メンバーなど約20人</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>全国的な人口減少社会の中、矢板市においても人口減少やそれに伴う地域の活力低下などが懸念されており、人口流出の抑制や交流人口の増加など、人口減少に歯止めをかけるため、スポーツツーリズムを推進している。</p> <p>そこで、豊かな自然の中でのスポーツを通じて市の魅力を発見・共感ひいては本市の良さを県内外にPRしていくとともに、交流の促進を図るため平成5年度より本大会が始まり、今回で26回目を迎える。</p> <p>当事業は県内唯一の一般競技大会として、県内外から参加者を集める大会となるだけでなく、県のトライアスロン選手権大会を兼ねており、県内の参加者に強くアピールする大会としても効果を発揮している。</p> <p>当市では、サイクルツーリズムにも力を入れていることから、サイクリストに対して良好な練習環境をPRすることで、大会を通じ通年的な来訪者獲得を目指す。</p> <p>また、表彰式にあわせて、選手の健闘を称えるパーティーを開催することで、市の特産品等を楽しんでもらうとともに、選手やボランティアの交流の場をつくり出しているが、地域との交流が進んでいない。そのため、今後も矢板の良さをPRする取組みを進めるとともに、参加者と地域との交流を活性化させることが課題である。</p>
事業目的	<p>・スポーツを通じて、豊かな自然、隣接する観光地への地理的条件などを含めた"矢板の良さ"を県内外にPRしていく</p> <p>・県内外からの参加者と地域との交流を活性化させる</p>
事業概要	<p>「たかはらやまトライアスロン」を実施するとともに、市の特産品や市内及びその周辺の観光をPRすることにより、矢板市の魅力を伝えるための取組みを行う。また、一層地域に根差した大会とするため、選手を応援するギャラリーを増やすための取組を実施する。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>①大会のPR及び情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・昨年度に引き続き、県内外のトライアスロンに関係する団体に対し、本大会の告知やポスター等の提供を行う。 ・大会HPや外部サイトを活用して情報発信及び参加者の募集を行う。 <p>②大会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内の地形を活かしたコースにおいて、「オリンピックタイプ」、「スプリントタイプ」、「リレーの部」、「キッズの部」のカテゴリに分けて大会を開催する。 <p>③市のPR及び観光誘客促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大会参加者向けに市の特産品や観光地のPRを行うほか、表彰式にあわせて矢板市産の食材を使った料理をふるまうパーティーを行うことにより選手やボランティアの交流を図る。 ・会場でのふるさと納税PRにより、継続的な参加や市の応援者増を図る。 ・市内で同月中に開催される「やいた八ヶヶ原ヒルクライムレース」等と提携し、市内外に本大会をPRする。 ・サイクリストも多く訪れることから、市が制作した周遊マップ等を配布し、練習などで継続的に来訪してもらえるようPRする。 ・スポーツコミッションと連携して宿泊の推進等を行うほか、エントリー時に宿泊予定に関するアンケートを実施や大会の参加通知書とあわせてアンケートを配布して当日受付時に回収する等、スポーツツーリズム推進に向けた取組みを実施する。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>次年度も継続して大会を開催、情報発信の更なる取組を進めていく。</p> <p>ふるさと納税の返礼品として参加チケットを設定することを検討し、大会においてPRすることで、参加者の拡大を図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標 ⇒ 『来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる』</p> <p>数値目標 ⇒ 交流人口数(人) 現状値(H26)1458,772 → 2,000,000(H31) [H28実績:1,627,926]</p> <p>KPI ⇒ スポーツ交流人口(人) 現状値(H26) - → 200,000(H31) [H28実績:139,423]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	28年度	29年度	30年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①大会の開催 ②市特産品を使った パーティーの開催	①大会の開催 ②市特産品を使った パーティーの開催	①大会の開催 ②市特産品を使った パーティーの開催		①大会の開催 ②市特産品を使った パーティーの開催
事業費	5,544,824	5,507,283	5,569,805	16,621,912	5,348,000
市町支出金 (ソフト事業分)	450,000	450,000	450,000	1,350,000	450,000
うち県交付金	225,000	225,000	225,000	675,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	5,094,824	5,057,283	5,119,805	15,271,912	4,898,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工林業観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	今津 崇人
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	syoukou@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	矢板市
事業名	ともなり文芸祭り
事業主体の名称	ともなり文芸祭り実行委員会
代表者の名称	委員長 松平 祐宣
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<p>・団体の目的:優れた歌人として、鎌倉時代の文学史を飾った本市初代川崎城主塩谷朝業翁を偲び、ともなり文芸祭りを開催することにより、本市文化の創造と本市のイメージアップを図ることを目的とする。</p> <p>・設立年月日:平成13年5月23日</p> <p>・構成員等:文芸に秀でた市民10人が委員となっており、近代短歌研究者である篠弘氏が顧問を務める。</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>優れた歌人・塩谷朝業にちなみ、平成7年度、栃木県で開催された第10回国民文化祭において、矢板市が短歌会場となり大勢の愛好者が集った。これを契機に市民の文芸熱も高まり、この後、ともなり文芸祭りが開催されることとなった。平成26年度の第16回大会から誌上大会となり、県内から短歌、俳句、川柳、詩の4部門において作品を募っている。短歌一般の部は全国から募集することとし、多くの応募があることから本市の知名度・イメージ向上に寄与しているが、文芸を通して市民に郷土愛の醸成を図っていくことが課題になっている。</p>
事業目的	<p>短歌・俳句・川柳・詩を通して市民文化が更に深化・発展することにより、心豊かな地域づくりを図り、本市の知名度やイメージ向上のみならず、郷土愛の醸成を図る。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】 矢板市の更なるPRや市民の向上心醸成を図るため、短歌部門において全国から作品を募集している。また、かつては市の委託事業として実施してきたが、現在ではこれまでのノウハウを活かし、当実行委員会が事業主体となって事業を展開している。また市内の小中学校とも連携し、若年層を対象とした郷土愛と国語教育発展の場とする。市民の文芸熱、郷土愛を醸成するため、「ともなり文芸祭り」誌上大会として以下の事業を実施する。 ①文芸作品の募集(7月～10月) ②入賞作品の審査・講評(11～1月) ③入賞作品集の発行</p> <p>【平成31年度以降】 本事業を通して文芸熱、郷土愛の醸成が図られるよう、広く作品を公募しながら本事業を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:各世代を支援する KPI:児童生徒におけるふるさとへの愛着度(%) 現状値(H26) 実績なし → 90.0(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行	①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行		①文芸作品の募集 ②入賞作品の講評 ③入賞作品集の発行
事業費	1,428,225	1,385,000	1,385,000	4,198,225	1,385,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,200,000	1,200,000	1,200,000	3,600,000	1,200,000
うち県交付金	600,000	600,000	600,000	1,800,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	228,225	185,000	185,000	598,225	185,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	生涯学習課 文化担当
担当者名	平山 明美
電話	0287-43-6218
FAX	0287-43-4436
E-mail	gakusyuu@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	「つつじの郷やいた花火大会」事業
事業主体の名称	やいた花火大会実行委員会
代表者の名称	実行委員長 東泉 清寿
事業主体の所在	矢板市本町2番18号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:市民手作りの花火大会により、市を盛り上げ、活性化することを目的とする。 ・設立年月日:平成19年5月14日 ・構成員等:各種団体や商工会の関係者等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市の花火大会は、秋の風物詩として毎年10月に実施しており、大会は日中に行う「ファミリータイム」と、日没後に行う「花火大会」の二部構成で行っていた。</p> <p>他の地域と花火大会の時期が異なっていることもあり、当日は市内外から多くの来場者がいるが、花火に集客が偏っており、日中から市内を訪れ、周遊してもらうような機会にしていることが課題となっている。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・昼夜ともに市内外から多くの人が集まることで地域イメージの向上を図るとともに、市民手作りのイベントを実施することで、地域の繋がりを深める。 ・本事業を通じて、来場者に対して本市の魅力を発信し、市への来訪者増加を図るとともに、市内周遊や市内施設の利用促進を促すことにより地域活性化を図る。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>上記の課題を解決するため、日中の「ファミリータイム」を廃止し、日中の集客イベントを同じく開催時期を課題としていた「ふるさとまつり」が担当することで、それぞれのイベントによる相乗効果の発揮を図る。</p> <p>以下の通り、「つつじの郷やいた花火大会」を実施する。</p> <p>①地域の住民や事業者等の多様な主体が参画した実行委員会における企画・検討</p> <p>②日中の誘客を促進するため、これまで8月に市内で実施されていた「ふるさとまつり」と協力し、それぞれのイベントの強化を図る。なお、花火大会のイベント会場は道の駅やいたとし、支出も含めふるさとまつりとは明確に区分する。また、イベントの見直しを図り、より多くの方が楽しめるイベントを企画する。</p> <p>②「花火大会」(18:30~19:45)の実施</p> <p>約1万発の花火を打ち上げる。花火大会においては、地域の子供が考える「夢花火」事業を実施し、郷土愛の醸成を図る。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>来場者の数や市内周遊の状況を踏まえ、取組みの改善を図りながら本大会を継続する。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:『来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる』</p> <p>KPI:交流人口数(人) 1,458,772(H26)⇒2,000,000(H31) H28実績値:1,627,926</p> <p>道の駅やいた関連施設利用者数(人) 974,000(H26)⇒1,200,000(H31) H28実績値:1,104,982</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①多様な主体による企画検討 ②「ファミリータイム」開催 ③「花火大会」開催	①多様な主体による企画検討 ②「ふるさとまつり」共催 ③「花火大会」開催	①多様な主体による企画検討 ②「ふるさとまつり」共催 ③「花火大会」開催		①多様な主体による企画検討 ②「ファミリータイム」開催 ③「花火大会」開催
事業費	14,960,201	15,540,000	15,540,000	46,040,201	15,540,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,300,000	2,000,000	2,000,000	5,300,000	2,000,000
うち県交付金	650,000	1,000,000	1,000,000	2,650,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	13,660,201	13,540,000	13,540,000	40,740,201	13,540,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工林業観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	高瀬 智明
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	svoukou@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	「ふるさとまつり」事業
事業主体の名称	ふるさとまつり実行委員会
代表者の名称	会長 高柳 真知子
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:市民に郷土愛を強め、青少年に思い出のふるさととしての郷土観を深めるとともに、市民の健全なレクリエーションの場となり、また、出会いとふれあいの場となるまつりの実施を積極的に促進することを目的とする。 ・設立年月日:昭和56年7月6日 ・構成員等:各種団体や商工会の関係者等
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>「ふるさとまつり」は、夏の恒例イベントとして長年続いてきた祭りであるが、平成25年度は会場である長峰公園の除染工事のため休止となっていたことから、平成26年度からリニューアルして再開した。</p> <p>これまで4回実施してきたが、同じ8月にあんどん祭りが実施されていることや、花火の打ち上げ規模が10月に開催されていた花火大会と比較して規模の小さいものとならざるを得なく、他のイベントと類似していることが課題となっていた。</p> <p>そのため、今回は市制60周年記念事業として、10月の花火大会と同日開催とすることで、日中はふるさと祭りで集客し、夜間は花火大会を観覧してもらうという相乗効果を高めることを狙いとする。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・矢板市のイメージアップ、市内外から、多くの方が「ふるさとまつり」に来場することにより交流人口の増加が図られる。 ・市民や地域づくり団体など、多様な主体がイベントに参加することで、地域の繋がりが深まる。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①多様な主体が協力しながら、「ふるさとまつり」を実施する。 ・市制施行60周年記念事業として、10月13日(土)の花火大会と同日開催とし相乗効果を高める。 ・市内各行政区が所有する山車を巡るスタンプラリーを実施し、広域での賑わいの創出とともに市内の周遊客増を図る。 ・ステージイベント中心の祭りから、市民参加型に切り替え、特に子ども向けの企画を重点的に実施する。 ・会場の中心エリアに「体験ゾーン」を設けて、「見る祭り」から「参加する祭り」としていく。 ・市内の農産品等のPRの場として、飲食ブース等を設け6次産業化について生産者の知見を高める。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>花火大会実行委員会との統合を検討し、イベントを市民や外部の来訪者へ定着させる。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる</p> <p>KPI:交流人口数(人) 1,458,772(H26)⇒2,000,000(H31) [H28実績:1,627,926]</p> <p>道の駅やいた関連施設利用者数(人) 974,000(H26)⇒1,200,000(H31) [H28実績:1,104,982]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①ふるさとまつりの開催	①ふるさとまつりの開催	①ふるさとまつりの開催		①ふるさとまつりの開催
事業費	5,192,557	3,510,000	3,510,000	12,212,557	3,510,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,100,000	2,100,000	2,100,000	6,300,000	2,100,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	3,092,557	1,410,000	1,410,000	5,912,557	1,410,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工林業観光課 観光スポーツツーリズム担当
担当者名	高瀬 智明
電話	0287-43-6211
FAX	0287-44-3324
E-mail	syoukou@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	「木の駅プロジェクト」事業
事業主体の名称	木の駅プロジェクト実行委員会
代表者の名称	佐野 幸隆
事業主体の所在	矢板市本町2-18
事業主体の概要	<p>・団体の目的: 林内に放置されている未利用材を利用する仕組みを構築し、森林所有者等による搬出の取組み意欲を促進する。あわせて、間伐の推進と間伐材の有効利用により、地域の林業・木材産業の活性化及び地域通貨の流通により商業の活性化を図る。</p> <p>・設立年月日: 平成28年4月1日</p> <p>・構成員等: 山林所有者、商工会、商店会等</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>本市は、市内の6割を森林が占めているが、間伐等が行き届かない状態となっており、森林の水源涵養や土壌保全能力等の機能低下が危惧されているほか、林内にに放置された間伐材の撤去が課題となっている。</p> <p>他方では、市内の商業面においても売上減少等による商店街の衰退が見受けられ、林業・商業等を連携させた地域経済の活性化が求められている。</p>
事業目的	<p>林地残材を資源として有効活用することにより、植林・育樹・伐採という本来の山林活用サイクルが可能となり、里山の森林整備が促進される。</p> <p>また、本事業を通じた仲間づくりや地域コミュニティの醸成や残材の販売によって地域の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <p>①間伐材の受け入れ これまで活用されていなかった間伐材を受け入れ、チップに加工することにより、間伐の促進による森林保全を促進し、あわせて、チップを地域の資源として活用する。</p> <p>②地域通貨券の活用 商工会と連携し、地域通貨券の趣旨に賛同する店舗等を拡大していく。</p> <p>③出荷者向け安全講習会の開催</p> <p>④植樹や製材工場見学等を行う林業体験ツアーをはじめ、多世代を対象とした林業への関心を高めるための各種イベント開催</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>これまでの結果を踏まえて事業改善を図るとともに、森林保全及び間伐材の有効活用を一層強化し、地域通貨券の取扱い店舗を拡大し、地域への波及効果を高める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標: 安定した雇用を創出する</p> <p>KPI: 市内民間従業者数(人) 12,168(H24)⇒12,168(H31)[平成28年度実績: 13,666]</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④林業体験ツアーの開催	①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④林業体験ツアーの開催	①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④林業体験ツアーの開催		①間伐材の受け入れ ②地域通貨券の活用 ③安全講習会の開催 ④林業体験ツアーの開催
事業費	3,854,887	4,000,000	4,000,000	11,854,887	4,000,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	500,000	500,000	1,500,000	500,000
うち県交付金	208,432	250,000	250,000	708,432	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	3,354,887	3,500,000	3,500,000	10,354,887	3,500,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	農林課林政担当
担当者名	齋藤 敦子
電話	0287-43-6210
連絡先 FAX	0287-44-3324
E-mail	nourin@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単事業調書)
【単事業】

市町名	矢板市
事業名	川崎城跡公園周辺地域再生事業
事業主体の名称	川崎城跡公園再生市民会議
代表者の名称	代表 石下 福一郎
事業主体の所在	矢板市本町5番4号
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:川崎城跡周辺の景観整備や周辺地域を活性化するためのイベント実施等を目的とする ・設立年月日:平成19年5月17日 ・構成員等:活動の趣旨に賛同する矢板市内の個人及び団体
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>川崎城跡公園は約800年前、塩谷地方を領有していた塩谷氏が築城した川崎城の跡地を整備した公園である。毎年8月に「あんどんまつり」を開催しているが、市民への告知が十分ではなく、来場者の滞在時間も短い。あんどんを灯した風景をより楽しんでもらうには、公園内のみならず周辺の美化活動等も重要であり、一層の景観整備が必要になっている。</p> <p>さらに、「あんどんまつり」も11年目を迎えることから、より地域住民が主体となった取組みとしていくことが課題である。</p>
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・矢板市のシンボルのひとつである「川崎城跡」にある川崎城跡公園を地域に愛される公園とするとともに、地域の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	<p>【平成30年度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①草刈等を中心とした公園内の景観整備 <ul style="list-style-type: none"> ・市内の環境団体が実施するイベントと連携し、川遊びをするとともに親子が景観整備事業に参加することを通じて、公園への関心と祭りへの参加機運を高めるための取組を実施する。 ②あんどんまつり(8月)の実施 <ul style="list-style-type: none"> ・必要な事業を精査してスリム化を図るとともに、より地域に密着した市民の郷土愛醸成を目的とした祭りとする。 ・市制施行60周年記念事業として、LED/バルーンを飛ばすイベントを追加し、特色ある祭りの創出を図る。 ・メインである5000個の「あんどん」設置に加えて、地元の子どもたちによる「よさこいソーラン」や「吹奏楽」のほか、若手団体の協力を得ながら来場者も参加できる企画を実施する。 ・昨年度は、10周年記念事業としてスタンブラリーを実施したが、他のイベント日程が移動したこともあり、スタンブラリー事業は実施しないこととする。 <p>【平成31年度以降】</p> <p>これまでの取組みの改善を図りながら、地域の魅力発信の取組みを進める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>基本目標:『来てもらう、住んでもらう人の流れをつくる』</p> <p>KPI:交流人口数(人) 1,458,772(H26)⇒2,000,000(H31) H28実績値:1,627,926</p> <p>道の駅やいた関連施設利用者数(人) 974,000(H26)⇒1,200,000(H31) H29実績値:1,104,982</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	29年度	30年度	31年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①草刈等の景観整備 ②あんどんまつりの実施	①草刈等の景観整備 ②あんどんまつりの実施	①草刈等の景観整備 ②あんどんまつりの実施		①草刈等の景観整備 ②あんどんまつりの実施
事業費	573,281	626,000	426,000	1,625,281	426,000
市町支出金 (ソフト事業分)	500,000	470,000	270,000	1,240,000	270,000
うち県交付金	218,976	235,000	135,000	588,976	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	0
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	73,281	156,000	156,000	385,281	156,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	都市整備課 都市計画担当
担当者名	手塚 宏子
電話	0287-43-6213
FAX	
E-mail	tosiseibi@city.yaita.lg.jp

栃木県わがまち未来創造事業計画(実績)書(単位事業調書)
【単独事業】

市 町 名	矢板市
事 業 名	学生団体による「高校生の居場所づくり」事業
事業主体の名称	Yaita All Directions
代表者の名称	代表 椎貝 菜月
事業主体の所在	矢板市本町5-4
事業主体の概要	<p>・団体の目的:「高校生の居場所づくり」を目指して、高校生が主体的に活動する。また、高校生が地域の方たちと関わりあいな がら、矢板市の魅力に関する情報発信を行うことで、地域の活性化を図る。</p> <p>・設立年月日:平成30年7月</p> <p>・構成員等:矢板市内に居住・在学する高校生および本会の目的に賛同する高校生</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>矢板市では、中心市街地の空洞化や少子高齢化が進行していることから、地域の活力低下などが課題となっている。 そこで、市内の3高校の生徒が中心となり立ち上げる学生団体「Yaita All Directions」の取り組みを通じて、地域活性化を図るとともに、地域の担い手としての育成を目指す。</p>
事業目的	<p>「高校生の居場所づくり」を目指した活動を支援する。 また、高校生が矢板市の魅力に関する情報発信を行うことで、地域の活性化を図る。</p>
事業概要	<p>矢板市主催のまちづくりを学ぶ「矢板武塾」において、平成28年度に市内の中学3年生～高校2年生に行ったアンケートによると、「矢板駅周辺に高校生が勉強しやすい場所(個人・集団スペースあり)や交流する場所がほしい」との意見が大半となった。そのため、将来的に高校生が気軽に集うことのできる「高校生の居場所づくり」を考える必要がある。</p> <p>今回、立ち上げる団体では、高校生が主体的にまちを盛り上げる取り組みを行い、活動を通じて「居場所」を体感するとともに、活動拠点を設け、その場所がメンバー以外も含め、高校生の集まる「居場所」となっていくようにしたい。活動の初年度は、本格的な事業実施に先立ち、地域の状況把握など、拠点整備に向けた調査研究事業に重点を置いて活動する。</p> <p>【平成30年度】</p> <p>①7～9月 10月のイベント実施(ふるさとまつりに合わせた高校生カフェ)に向けた準備 矢板駅前の空き店舗を活用し、電車利用の来訪者をターゲットに駅前にてオープンカフェを実施する。 SNSを活用した団体及び地域に関する情報発信・先進事例の視察</p> <p>②10月～ 高校生カフェの準備 9月より着任予定の地域おこし協力隊の任務(ゲストハウスを軸とした地域拠点の創設)と協力しながら、矢板駅西地区を 想定した拠点の設置に向け検討を進める。</p> <p>③10～2月 まちあるきマップの作成および配布 メンバーが市内を調査し、マップ作成に向けた取材やスタンプラリーへの参加依頼を行う。</p> <p>【平成31年度以降】</p> <p>前年度に作成したマップを活用したスタンプラリーの実施をするとともに、矢板駅西地区での拠点づくりに取り組む。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>目標:各世代を支援する KPI:児童生徒におけるふるさとへの愛着度(%) 現状値(H26) 実績なし → 90.0(H31)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	30年度	31年度	32年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①まちあるきマップの作成・スタンプラリーの実施 ②高校生カフェの準備 ③SNSを活用した情報発信	①まちあるきマップの作成・スタンプラリーの実施 ②高校生カフェの実施 ③SNSを活用した情報発信	①まちあるきマップの作成・スタンプラリーの実施 ②高校生カフェの実施 ③SNSを活用した情報発信		①まちあるきマップの作成・スタンプラリーの実施 ②高校生カフェの実施 ③SNSを活用した情報発信
事業費	605,000	605,000	605,000	1,815,000	305,000
市町支出金 (ソフト事業分)	600,000	600,000	600,000	1,800,000	300,000
うち県交付金	300,000	300,000	300,000	900,000	
市町支出金 (ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	5,000	5,000	5,000	15,000	5,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課 商工担当
担当者名	主任 相馬 智美
電話	0287-43-6211
連絡先 FAX	0287-44-3324
E-mail	svoukou@city.yaita.tochigi.jp